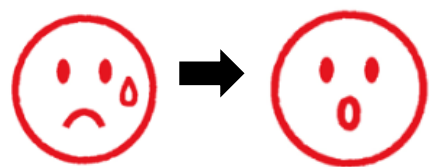


建設業

回答率：100% (25/25)

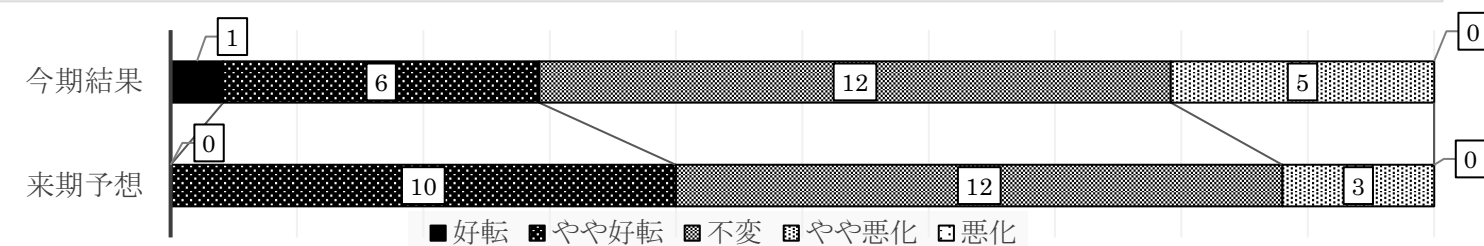


今期 見通し



■丹波市の景況推移

受注量は少しずつ回復傾向にあり、年内の受注が確保できているという事業所もみられる。しかし、ウッドショックの影響で木材価格や資材関係の高騰が続いており、価格の上昇分については今後も転嫁しにくい状況が続くと思われる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

受注量は少しずつ回復傾向にあり、年内の受注が確保できているという事業所もみられる。しかし、ウッドショックの影響は現在も続いており、木材の価格が高騰している。また、鉄骨建築業においては、ここに来て鉄の仕入難・仕入価格の上昇が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

ウッドショックの影響により、木材価格やそれに関連する資材関係の価格も高騰が続いている。価格の上昇分については今後も転嫁しにくい状況が続くと思われる。

■全国の景気動向

台風などの災害復旧工事や国土強靱化対策により、土木工事などが堅調に推移している。また、リフォーム需要の高まりから、内装工事や給排水・衛生設備工事も上向いている。一方、木材や鉄鋼などの価格高騰や職人などの人手不足感が続いており、材料費・人件費の上昇による収益の圧迫が懸念されている。

■県下の景気動向

資材関係の納入が遅延しているが、少しずつ解消されてきている。材料価格の高騰が続いており、数カ月先の建材価格の状況が予測できないため、営業に大きな影響を及ぼしている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

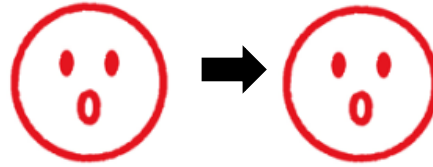
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	0	0	2	1	0	4	16.0%
不変	2	6	0	1	1	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	6	1	1	1	1	10	40.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

回答率：100% (25/25)

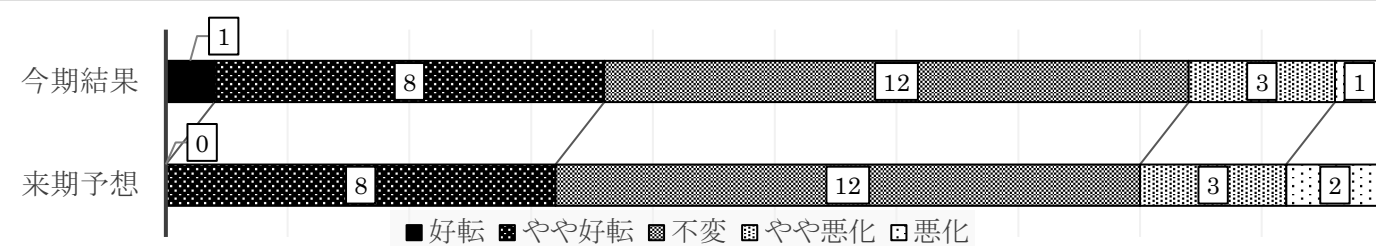
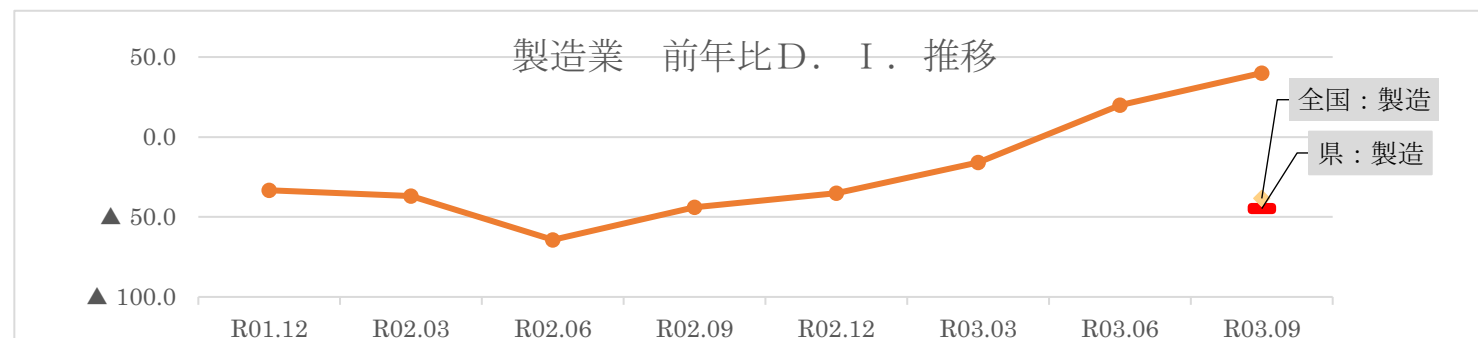
2021年7月～9月期調査

今期 見通し



■丹波市の景況推移

新型コロナウイルスからは徐々に回復傾向にあるが、業種業態によって回復度合いが大きく異なり、半導体の不足、原材料の価格高騰が次なる経営課題として挙げられている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

半導体不足や原材料の価格高騰が経営に大きな影響を与えている。また、高騰分を売価に転嫁することが一部で行えず、利益の減少に転じている企業も見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

新型コロナウイルスの影響からは徐々に回復してきてはいるものの、半導体不足や原材料の高騰が経営を圧迫しており、当面の間は継続するものと予想される。

■全国の景気動向

半導体不足の影響に加え、東南アジアでの感染拡大などを背景に部品の調達困難となり、国内外で自動車の減産は長期化し、継続的に鉄鋼・木材・樹脂などの価格高騰が続く、経営を圧迫する要因にもなっている。食料品関連は需要がやや回復傾向も天候不順による原材料の高騰が続く、仕入競争が激化しており、今後もこの状況が継続する懸念がある。繊維関連は季節ものの受注は動いているが、外出自粛の影響で業界全体が低迷している。

■県下の景気動向

半導体不足や原材料の価格高騰で利益の圧迫により業績が低迷している。また、設備の老朽化や人手不足なども経営課題として挙げられている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

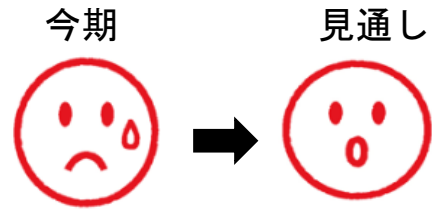
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	4	3	2	1	2	14	56.0%
不変	1	2	1	1	2	0	7	28.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	1	0	0	1	4	16.0%
合計	3	8	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

回答率：100% (25/25)

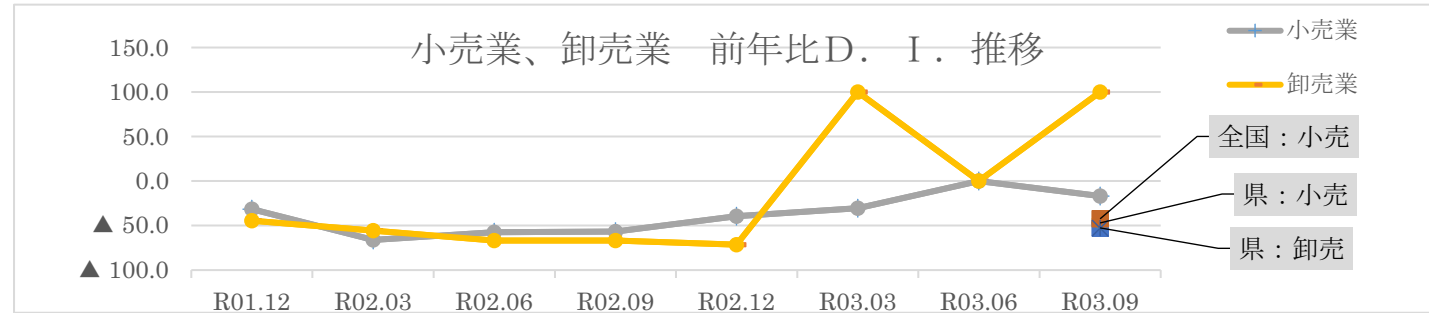


良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



■丹波市の景況推移

食料品関係は比較的安定した状況が続いている。緊急事態宣言が解除され、人流も物流も戻りつつあり、更なる回復が見込まれる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食料品類は比較的安定した状況が続いている。自動車関連は、新車の入荷が滞っており、納期の目途が立たず契約に至らない状況であり非常に厳しい。燃料販売等は外出自粛の影響で個人向け消費が減っている。更に、原油価格の高騰で販売額は増えても利益減少の傾向にある。

【丹波市の来期の景況予想】

自動車販売は、半導体問題が終息し、巣ごもりからの反動が見込める。また、製造遅れも解消に向かうことで消費購買意欲が増す。観光業も GOTO トラベル等の施策による消費喚起に期待したい。

■全国の景気動向

食料品関連は、引き続き巣ごもり需要である程度売り上げは確保できている。自動車関連は中古車の仕入れ価格が上昇し価格転嫁が難しく、新車に関しては納期が長く6~8カ月かかり、カーナビなどの部品も欠品状況が続く。衣料品関係は、8月の天候不順が影響し商品が動かない状況である。

■県下の景気動向

巣ごもり需要で食品関係は引き続き好調であり、小売業全体としても売上、収益において全て改善の傾向にある。新型コロナウイルス感染症が収まりつつあり、回復の兆しがみられる。

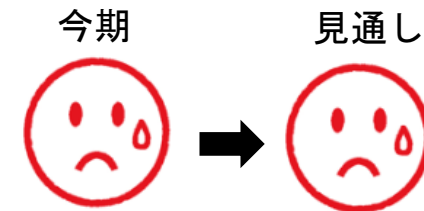
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	1	0	1	0	6	24.0%
不変	1	5	0	2	2	0	10	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	4	1	0	2	0	2	9	36.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

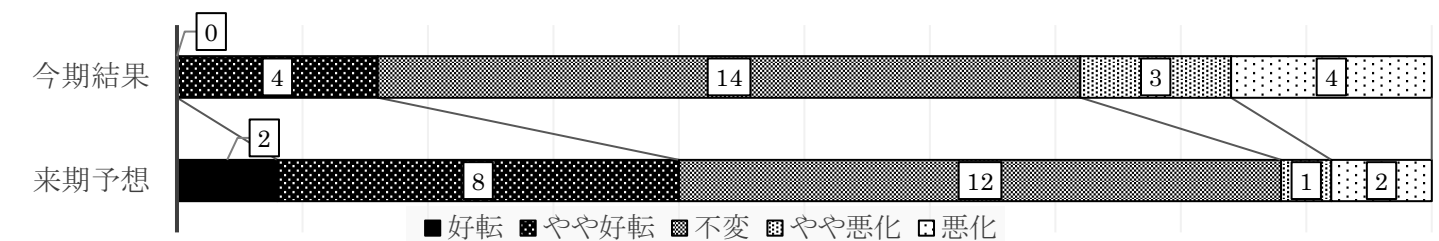
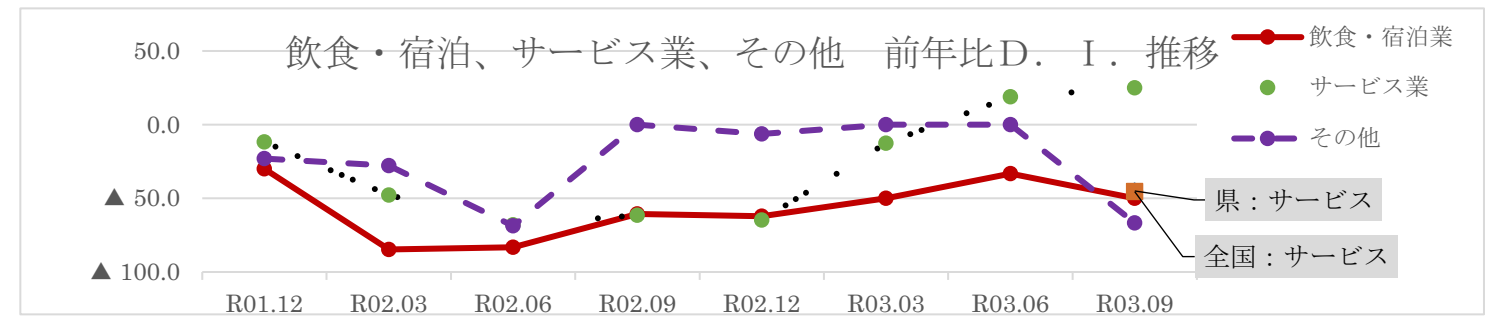
回答率：100% (25/25)

2021年7月~9月期調査



■丹波市の景況推移

緊急事態宣言が解除された事により、幅広い業種において年末の需要拡大を見込み、サービス業種全体では横ばい、若しくは改善を期待する状況が見られる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

サービス業全般では、新型コロナウイルスの影響下にありながら、感染者数減少に伴い、前期に続いてDI値は緩やかに改善傾向にある。比較的好調な業種としては不動産業。都市部からの移住やテレワークに活用できる中古物件に関する需要が高まっている。また運送業においても物量増加が見られる他、代行タクシーの配車回数の増加、観光バスの予約状況にも改善の兆しが見られる。

【丹波市の来期の景況予想】

緊急事態宣言が解除された事により、幅広い業種において年末の需要拡大を見込み、サービス業種全体では横ばい、若しくは改善を期待する状況が見られる。しかし特に飲食業界においては、コロナ前の忘年会の様な宴会需要は見込めず、これに代わる個人需要の取り込み等、新たな戦略が求められる厳しい状況にある。

■全国の景気動向

新型コロナウイルスの影響下にありながら、感染者数減少に伴い、前期に続いてDI値は緩やかに改善傾向にある。改善傾向にあるのは、不動産業・情報サービス業・広告関連業種である。一方依然として厳しい水準が継続しているのは飲食、宿泊業種であり、ワクチンパスポートの活用による景気刺激策等に期待が高まっている。

■県下の景気動向

サービス業全体としては、市内景況感と同様に業況DI・売上DI共に僅かながら改善傾向にあった。また、来期についてもプラスの予測が出ており、感染再拡大の懸念はあるものの、年末需要拡大に期待感が現れている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	0	2	0	6	24.0%
不変	2	4	2	2	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	2	2	0	0	7	28.0%
合計	5	8	4	4	0	1	25	100.0%